



まちの情報発信講座

2025年度 事例のご紹介



まちの情報発信講座について

2025年度



まちの情報
発信講座

● 概要

本講座は、町会・自治会の皆さんが主体的に団体の情報発信の課題解決に取り組むコースです。講座は「ホームページ作成」「LINE活用」の2つのコースを開催し、町会・自治会の方々がご自身で成果物を作成・運用し、町会・自治会が地域で効果的な情報発信を行うことを応援します。集合型講座（ホームページ作成・LINE活用とも全3回）への参加を通じ、先進事例をモデルとして目標とする成果物作成を進めていきます。講座は、ビジネスの経験・スキルを活かしたボランティア「プロボノワーカー」が課題整理に伴走し、当日のサポートを行います。

● プロジェクトの流れ

第2回に向けた宿題

ヒアリング・アンケートの実施
写真や資料の素材集め

第3回に向けた宿題

掲載する素材やコンテンツの増補
ホームページの作成
LINEテスト運用の実施

第1回 講座

情報発信の基礎知識についてお伝えする講義に加え、ホームページ作成、LINE活用の目的を整理するワークを通じて、成果に向けた企画作成を行いました。

第2回 講座

第1回で整理した情報発信の目的と宿題のアンケート結果をもとに、改めて企画を最終化していきました。
その企画をもとに、ホームページはGoogleサイト、LINE活用は、LINE公式アカウントを作成する作業を行いました。

第3回 講座

最終回では、参加の町会・自治会の皆さんがこれまで取り組んできた内容や工夫した点などを発表し全体共有しました。さらに運用する上での課題や疑問点を洗い出した上で、今後のアクションを検討し、成果物の最終化を行いました。

《ホームページ作成》講座を振り返って

～各町会・自治会からの声と成果物～

2025年度



まちの情報
発信講座

豊玉第二町会

[練馬区]

公開中



70年もの歴史がある町会です。情報の「一斉送信」と「見える化」により、新住民が町会活動に参加しやすい環境を目指しました。地図で町会エリアを明確にしたり、最新ニュースを即時更新する体制を整えました。「地域の便利帳」では行政窓口、病院や商店情報を集約。月別の行事・イベントの予定を見やすく整えました。

西東京市第3区町会

[西東京市]

公開中



「地域に暮らす人々の顔と顔、心と心がつながる街づくり」を掲げ、町会活動の魅力を伝えたいと考えています。特徴は、スマホでの閲覧性を高めるボタン設置や、コミュニティFMの音源・動画の埋め込みといった多角的な情報発信です。会長の挨拶やSNS連携に加え、サイトポリシーも明記し、安心・便利なサイトを目指しました。

《ホームページ作成》講座を振り返って

～各町会・自治会からの声と成果物～

2025年度

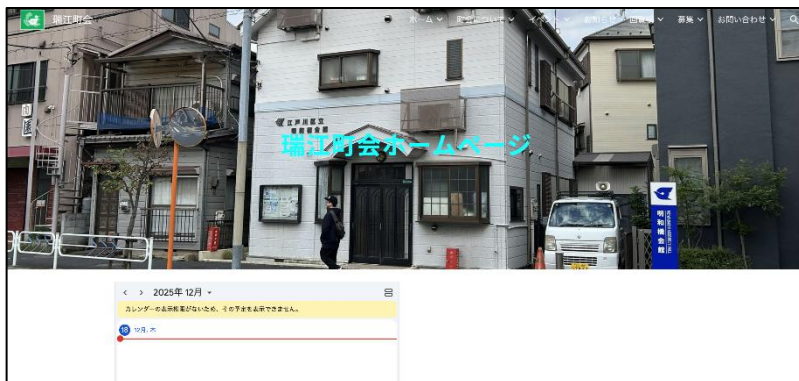


まちの情報
発信講座

瑞江町会

[江戸川区]

公開中



サイト作成により町会活動のマンネリ化を打破し、住民に活動の「新しさ」や「変化」を感じてもらうことが目的です。「瑞江町会が変わった」と実感してもらえるよう、運用を進めていきたいと考えています2026年4月1日の正式公開を目指して準備を進めていく予定です。

貞明町会

[江戸川区]

公開中



サイトの目的を、「未加入者への加入促進」と「消極的な会員の参加促進」の2点に絞りました。町会の魅力を言語化し、トップページには町会のイメージカラーを採用。過去のチラシのアーカイブ化や活動の楽しさを視覚的に伝えるため写真も多用。町会参加への心理的なハードルを下げるメッセージを入れたりなどの工夫をしています。

《ホームページ作成》講座を振り返って

～各町会・自治会からの声と成果物～

2025年度



柳原南町会

[足立区]

公開中



ハイツ町屋自治会

[荒川区]

公開準備中



797世帯の町会内の住民へ確実に情報を届けることが、今回のサイト作成の目的です。スマホ利用者を想定し、文字数や文字のサイズ、PDFの見え方を確認してスマホでの視認性を検証しました。イベント情報など、誰もがストレスなく、スマホで地域情報にアクセスできる環境を整えていきます。



サイト作成に伴い、個人のGoogleドライブのデータを町会専用アカウントへ集約し、継続的な情報発信の体制を整えました。今後はGoogleドライブと連携し、行事の写真を掲載したり、カレンダーでの予定共有、地図の埋め込み等、利便性の高いサイトを目指し本格的に取り組んでいきます。

《ホームページ作成》講座を振り返って

～各町会・自治会からの声と成果物～

2025年度



まちの情報
発信講座

覚東町会

[狛江市]

公開準備中



アンケートで最も関心が高かった「防災・防犯情報の充実」を軸にホームページを構成しました。河川ライブカメラやハザードマップのリンクを記載したり、地域と行政の連携をアピールしています。今後、回覧板だけでは伝えきれない活動の写真を掲載し、町会活動を知ってほしいと考えています。

元和泉1丁目町会

[狛江市]

公開準備中



ホームページ作成の目的は、新旧住民の相互理解を深め、若い世代に町会活動へ興味を持ってもらうことです。「サポーター制度」を導入し、役員以外でも気軽に参加できる入口を整えました。収穫祭などのイベント情報や歴史写真の掲載に加え、防災・ゴミ等の生活情報を集約した生活に密着したハブとしての役割も持たせています。

《LINE活用》講座を振り返って

～各町会・自治会からの声と成果物～

東三ノ輪町会

[台東区/3200世帯]



【LINE公式アカウント】テスト運用中



単身世帯が増えるなか、町会が何をやってるかが見えない状況により町会加入者が増えないことが課題でした。LINEでの発信で、活動の真面目さと楽しさの見える化を通じて、「いざという時に顔見知りがある安心感」を伝えていきたいと思っています。今後は、掲示板へのポスター掲示などでLINEを周知していきます。

大森三輪町会

[大田区/1210世帯]



【LINE公式アカウント】テスト運用中



町会運営のあるべき姿を想定し、公式LINEによる情報発信に挑戦しました。標準的な防災情報だけでなく、消火器マップなど町内に特化したお役立ち情報を集約・発信していきたいと考えています。またHPの開設も進めており、LINEと連携した情報提供にも取り組みたいです。

《LINE活用》講座を振り返って

～各町会・自治会からの声と成果物～

北千束中自治会 [大田区/1350世帯]



【LINE公式アカウント】テスト運用中

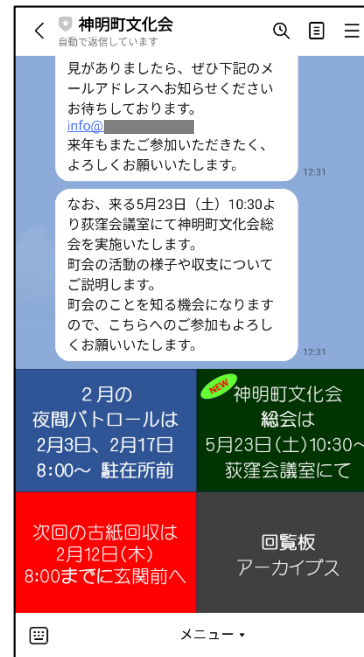


自治会活動をより気軽に手伝ってくれるボランティアを自治会員から幅広く募集するために、LINE公式アカウントを導入しました。いつどこでどのような協力が必要かなどの情報をタイムリーに発信することで、自分のタイミングで「これなら手伝える」と手を挙げやすい環境を整えていきたいです。

神明町文化会 [杉並区/1000世帯]



【LINE公式アカウント】テスト運用中



紙の回覧板での情報伝達に時間を要している現状の改善や、町会収入の柱である古紙回収の回収日の定期的なりマインドをするべく、LINEを導入。まずは小規模でテスト運用を行い、順次配信を拡大していく予定。LINE導入を機に、これまで接点の少なかった若い世代にも町会活動を知ってもらい、将来的な担い手の発掘にも繋がることを期待。

《LINE活用》講座を振り返って

～各町会・自治会からの声と成果物～

上一色北町会 [江戸川区/780世帯]



【LINE公式アカウント】テスト運用中



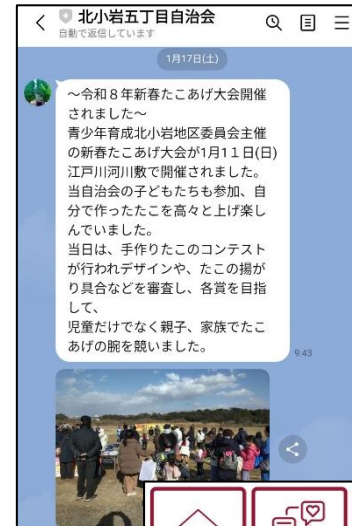
住民の高齢化が進んでおり、役員も固定化していることが課題でした。LINE導入により、既存のアナログな手法では情報が届きづらい小中学校の保護者世代に直接情報を届け、町会活動への理解と参加を促したいと考えています。ゆくゆくは、町の様子やイベントの活気が伝わる動画を活用した発信にも挑戦していきたいです。



北小岩五丁目自治会 [江戸川区/2040世帯]



【LINE公式アカウント】本格運用中



自治会加入率の低下や活動人材不足の現状を何とかしたく、日頃の活動を発信し理解と参加を得るためにLINE導入を決めました。また、既存HPへの誘導が弱かった点を、リッチメニューでLINEとHPを連携することで改善し、LINEから詳細な情報をHP上で閲覧してもらえるよう運用中です。今後は未加入世帯の友だち登録数を増やす仕組みを作っていきます。



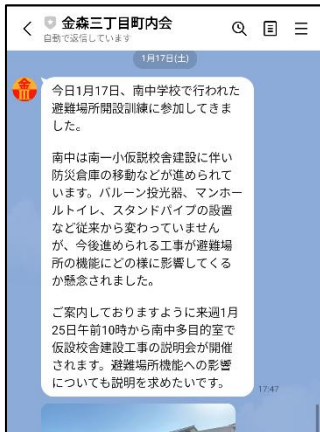
《LINE活用》講座を振り返って

～各町会・自治会からの声と成果物～

金森三丁目町内会 [町田市/120世帯]



【LINE公式アカウント】テスト運用中



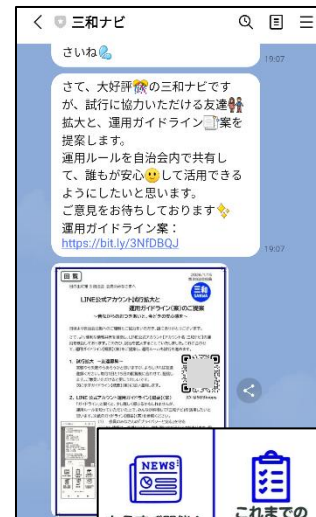
3年前から運用していた町会向けSNSの仕様変更に伴い、より汎用性の高いツールとしてLINEへの移行を検討しました。

公式LINEアカウントでの発信だけでなく、住民同士が双方向で交流できる場としてオープンチャットの活用も検討中です。今後の運用には市内の学生の力を借りて、地域に新しい風を取り入れたいと考えています。

日の出町第3自治会 [日の出町/110世帯]



【LINE公式アカウント】テスト運用中



若い世代や現役世代に情報を届け、自治会をより身近に感じてもらうためにLINEを活用していきたいです。LINEでの発信を通じて新しい参加者を増やし、将来的には次世代の担い手を確保できればと考えています。一人暮らし世帯への個別訪問のご案内や、組長の協力などを仰ぎながら、登録者数を増やしていきたいです。